

かわさき区の宝物シート

宝物No.

19-5

とうきょうでんりょく ひがしおうぎしまかりょくはつでんしょ 東京電力東扇島火力発電所



エリア	大師地区	シーズン	通年
	東扇島	日時	

目的	☐ 観る	☒ 遊ぶ・体験する
	☐ 食べる	☐ その他
宝物定義	☒ ものづくり	☐ イベント・祭り
	☐ 味づくり	☐ にぎわい
	☐ 現代の文化的なもの	☒ 港めぐり
	☐ 歴史的なもの	☐ 人物

写真提供：東京電力東扇島火力発電所

所在地	川崎区東扇島 3
問い合わせ	東京電力株式会社西火力事業所 総務部総務管財グループ
TEL	045-394-5309
FAX	045-311-0016
E-mail	
URL	http://www.tepco.co.jp/h-ogishima-tp/index-j.html (東京電力HP／西火力事業所・東扇島火力発電所)
交通	JR川崎駅より車で30分または首都高速湾岸線・東扇島出口より約5分



基礎情報

- 東扇島火力発電所は、神奈川県内にある5つの火力発電所の一つで、川崎港沖合いに昭和46年(1971)から49年(1974)にかけて造成された人工島「東扇島」の北西端に位置する。
- 昭和59年(1984)に東京電力初となる自前のLNG燃料基地が誕生し、隣接する川崎、横浜火力発電所へと、海底パイプラインでガスの供給が開始された。
- その後、敷地内に東扇島火力発電所が完成し、発電機の1号機(100万kW)が昭和62年(1987)に、2号機(100万kW)が平成3年(1991)に運転を開始した。

由来・エピソード

- LNGは、U.A.Eやマレーシア、ブルネイ、オーストラリアなどからLNG専用のタンカーで輸入されている。1隻のタンカーのLNGが全て基地に送られるまでに約1日かかるという。なお、LNGはマイナス162℃の液体なので、燃料基地内の気化装置でガス化され発電用燃料として使用される。LNGの気化には海水の熱が使われ、LNGを通したパイプに海水をかけて温度交換させる仕組みとなっている。
- LNGは、液体にする過程で大気汚染の原因となる硫黄酸化物(SOx)が取り除かれるクリーンなエネルギーであり、また、石油に比べ少ない量で同じ量の電気を発電できるため、発生する二酸化炭素(CO2)の量を約2割削減できるなど、地球温暖化の防止にも貢献している。
- 環境保全にも積極的に取り組み、発電所の約50万㎡の敷地面積の1/4以上が緑地として整備されている。「ふるさとの森」をつくるという発想から、植物はこの地域に適した種類の苗木が選ばれ植樹された。すでに15年以上が経過し、生長した大小20万本以上の樹木が人工島に豊かな森を形づくっている。年間で30種類以上の野鳥を観察することもできる。

補足・その他

- 平成23年(2011)3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、当面の間、西火力事業所内の火力発電所の見学を中止している。

関連シート

(18-1)東京電力川崎火力発電所